

## 町の花バラに新種！

### 「スカイツリー21」

町の花であるバラの新種が開発され、登録名は「スカイツリー21」となりました。生産者は石橋五夫さん（郡）。花弁の青みが特徴で空をイメージし、先日オープンした東京スカイツリーと21世紀を合わせて「スカイツリー21」と名付けられました。

生産者の石橋さんは、公益財団法人「日本ばら会」の理事を務め、毎年行われるバラの祭典「国際バラとガーデニングショウ」において今年も大賞を受賞されています。

石橋さんは、この「スカイツリー21」を神崎町の多くの場所で鑑賞できるように栽培の輪を広げることにも計画されておりあります。

次の開花期は秋頃の予定です。秋には多くのバラが鑑賞できればと思います。



「スカイツリー21」花弁が青みがかったのが特徴



交通安全祈願の様子



主催者を代表して鈴木古原区長の挨拶

町道武田古原線が全線開通したことで成田方面のアクセスが良くなり、通勤・通学などの利便性が向上し、快適な交通環境が実現されました。古原区においても、地域の活性化が図られることが期待されています。

新しい道路を気持ちよく通行するため、安全運転を心がけスピードの出しすぎには十分注意してください。

## 成田方面へのアクセスが便利に！！

### 町道武田古原線第1期ルートが開通

国道356号線から成田方面に繋がる重要な幹線道路として、町道武田古原線の全線が開通し、5月25日に古原区主催による開通式が開催されました。当日は多数の来賓、関係者、古原区民が出席して交通安全祈願・テープカット・パレードや祝賀会が行われ、道路の完成を祝いました。

町道武田古原線の第1期ルート（立野地先～古原荒神台）は平成6年度に完成。第2期ルート（古原荒神台～リパティーヒル団地入口）は平成16年度から工事に着手し、約8年の歳月を経て約1kmが完成し、これにより全線約4.3kmが全面開通しました。道路幅員6mで、片側に幅員2.5mの歩道を設置しています。第1期ルートの総事業費は約2億5千万円。



全線開通で走りやすくなった町道武田古原線